豊田工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	倫理

科目基礎情報

科目番号	03229	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気・電子システム工学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「高校倫理」（実教出版）／「倫理用語集」（山川出版社）		
担当教員	北野 孝志		

到達目標

(ア)哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。
(イ)古代ギリシアの思想の特徴を理解し、説明することができる。
(ウ)様々な宗教とそれを背景にした思想との関係を理解し、説明することができる。
(エ)仏教や儒教が日本でどのように受容され展開していったのかを理解し、説明することができる。
(オ)西洋近代の知が世界をいかに変えたのかを理解し、説明することができる。
(カ)日本における西洋思想の受容とその後の展開を理解し、説明することができる。
(キ)「よく生きる」ということについて主体的に考え、発表することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	これまでの哲学者や先人の考え方を理解し、それをきっかけにして自分なりの考えを持つことができる。	これまでの哲学者や先人の考え方を理解し、説明することができる。	これまでの哲学者や先人の考え方を理解し、説明することができない。
評価項目(イ)	様々な宗教とそれを背景にした思想、さらにはそれらの日本での受容について理解し、それをきっかけにして自分なりの考えを持つことができる。	様々な宗教とそれを背景にした思想、さらにはそれらの日本での受容について理解し、説明することができる。	様々な宗教とそれを背景にした思想、さらにはそれらの日本での受容について理解し、説明することができない。
評価項目(ウ)	西洋近代の知とその現代への影響について理解し、それをきっかけにして「よく生きる」ということについて自分なりの意見を持つことができる。	西洋近代の知とその現代への影響、特に日本における西洋思想の受容について理解し、説明することができる。	西洋近代の知とその現代への影響、特に日本における西洋思想の受容について理解し、説明することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	「人間とは何か」「いかに生きるべきか」などの問いは、私たちが生きていく中で突き当たる根本的な問いである。このような問いは、時代や洋の東西を問わず常に問われ続けてきた。そこで、この授業では先人たちの思想を包括的に扱い、その中で様々に捉えられている人間観･世界観を理解し、現代に生きる私たちを見つめ直すきっかけとする。それによって、「よく生きる」ということはどのようなことなのかについて主体的に考え、自分なりの意見を持つことができるようにする。
授業の進め方・方法	
注意点	継続的に授業内容の復習を行うこと。。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	人間とは何か（授業へのイントロダクション、二面性を持った人間）	(ア)哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。
		2週	古代ギリシアの思想：神話から哲学へ、ソフィストとソクラテス	(イ)古代ギリシアの思想の特徴を理解し、説明することができる。
		3週	古代ギリシアの思想：プラトンとアリストテレス	(イ)古代ギリシアの思想の特徴を理解し、説明することができる。
		4週	ユダヤ教・キリスト教・イスラーム：ユダヤ教とイエス	(ウ)様々な宗教とそれを背景にした思想との関係を理解し、説明することができる。
		5週	ユダヤ教・キリスト教・イスラーム：キリスト教の発展、イスラーム	(ウ)様々な宗教とそれを背景にした思想との関係を理解し、説明することができる。
		6週	仏教思想：仏教の根本思想（古代インドの思想とブッダ）	(ウ)様々な宗教とそれを背景にした思想との関係を理解し、説明することができる。
		7週	仏教思想：日本での受容・発展（仏教の伝来と平安仏教・鎌倉仏教）	(エ)仏教が日本でどのように受容され展開していったのかを理解し、説明することができる。
		8週	中国思想（儒家・道家の教え）	(ウ)様々な宗教とそれを背景にした思想との関係を理解し、説明することができる。
	4thQ	9週	日本における儒教の受容（朱子学と陽明学、古学）と国学	(エ)儒教が日本でどのように受容され展開していったのかを理解し、説明することができる。
		10週	西洋近代思想：ルネサンス・宗教改革・科学革命、近代的理性（ベーコンとデカルト）	(オ)西洋近代の知が世界をいかに変えたのかを理解し、説明することができる。
		11週	西洋近代思想：社会契約説（ホッブズ・ロック・ルソー）	(オ)西洋近代の知が世界をいかに変えたのかを理解し、説明することができる。
		12週	西洋近代思想：ドイツ理想主義（カントとヘーゲル）	(オ)西洋近代の知が世界をいかに変えたのかを理解し、説明することができる。
		13週	近代以降の日本思想：西洋思想の受容と展開（蘭学と「和魂洋才」、明治維新と文明開化、大正デモクラシー）	(カ)日本における西洋思想の受容とその後の展開を理解し、説明することができる。
		14週	近代以降の日本思想：日本独自の思想（西田幾多郎と和辻哲郎、柳田国男）	(カ)日本における西洋思想の受容とその後の展開を理解し、説明することができる。
		15週	授業のまとめ	(キ)「よく生きる」ということについて主体的に考え、発表することができる。

		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	定期試験	小テスト	課題	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100